

3月の「遊三だより」に掲載すべき記事でしたが、一か月遅れで「ひな祭り」と「藤沢宿まつり」についてお知らせします。

- ・ 3月3日～5日、遊行通り二丁目町内会（花やた、下田寿司あたり）の自治会館で「ばあばのひな祭り」が開かれており、8回目を迎えるとのことでした。平均年齢82歳になる元気な「ばあば達」が、月2回集まって楽しく、おしゃべりしながら、針を動かして作品作りに励んでいるとの事でした。



池上さんと 由井さん



全て、手作り つるし雛が見事です

・ 3月12日、「旧東海道 藤沢宿まつり」で賑あいました。藤沢橋から白旗交差点までの宿場の面影を再現したジオラマや浮世絵を済美館に展示、また「お蔵見学会」三カ所を所有者の特別の協力を得て行いました。その他、高野元文書館長による「藤沢宿を語る」の講演もあり、改めて江戸時代の面影を想像したひと時でした。

- ① 稲元屋さんの蔵は2棟が現存。創業は江戸末期の弘化2年（1845年）で稲元屋呉服店や雑貨薪炭商として栄え、街道に面した母屋兼店舗は昭和52年に焼失した。此処には明治天皇が行在所された記念碑が建てられている。
- ② 関次商店さんは明治6年創業の米穀肥料商で、明治19年（1886年）築と明治40年（1907年）築の2棟が現存している。
- ③ 鎌田商店は紙問屋として明治10年代に創業し、明治30年（1897年）築の石壁造りの蔵として保存されている。



稲元屋さんの2棟の蔵が奥に見える。下の写真がその蔵。

・ 毎年、恒例の友愛チームが主催する「さくら見物と食事会」を4月11日に計画しましたが、雨天のため中止。食事会のみになりました。翌日は絶好の花見日和、「さくら」だけの写真を掲載します。



「仁や」での食事会風景